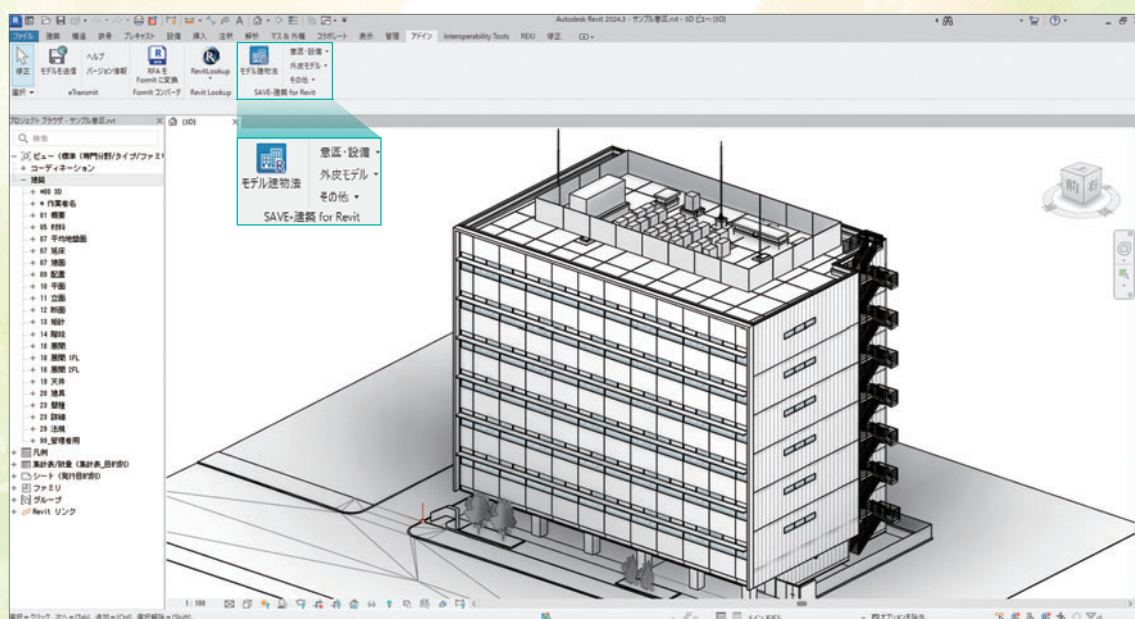


Autodesk Revit®アドインソフト

SAVE-建築 for Revit

Revitのモデルから
省エネ適合性判定に必要な書類を作成



※ モデル建物法(小規模版)には対応していません。

SAVE-建築 for Revitは、オートデスク社のBIMソフトウェア「Autodesk Revit®」で動作するアドインソフトです。Revitの外皮モデルや設備モデルから、モデル建物法の計算や入力シートを出力します。また、Revitの意匠モデルで読み込んだ外壁や窓、屋根などの熱的境界部分から、省エネ申請で使用できる根拠図面を作成できます。

BIMモデルから面積を集計する作業や、モデルを入力し直す手間が省力化されます。非住宅建築物の申請を扱う設計者には、必携のRevitアドインソフトです。

おもな特長

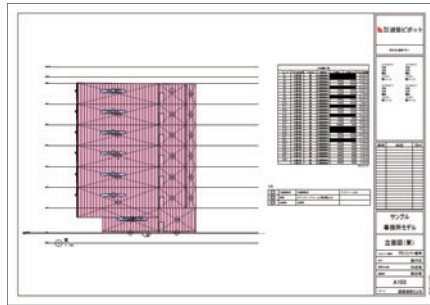
BIMモデルから直接、入力シートを作成

Revitの外皮モデルや設備モデルから、モデル建物法の入力シートへ出力します。建築研究所のWebプログラムにWeb API通信して、計算結果や帳票を取得できます。

モデル建物法入力シート

根拠図面の作成支援

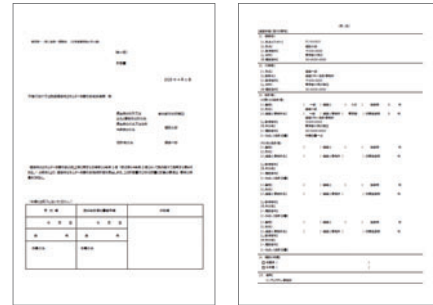
Revitの意匠モデルで読み込んだ外壁や窓、屋根などの熱的境界部分から、省エネ申請に使用可能な断熱範囲図などの根拠図面を、Revit上で作成できます。



立面図(断熱範囲)

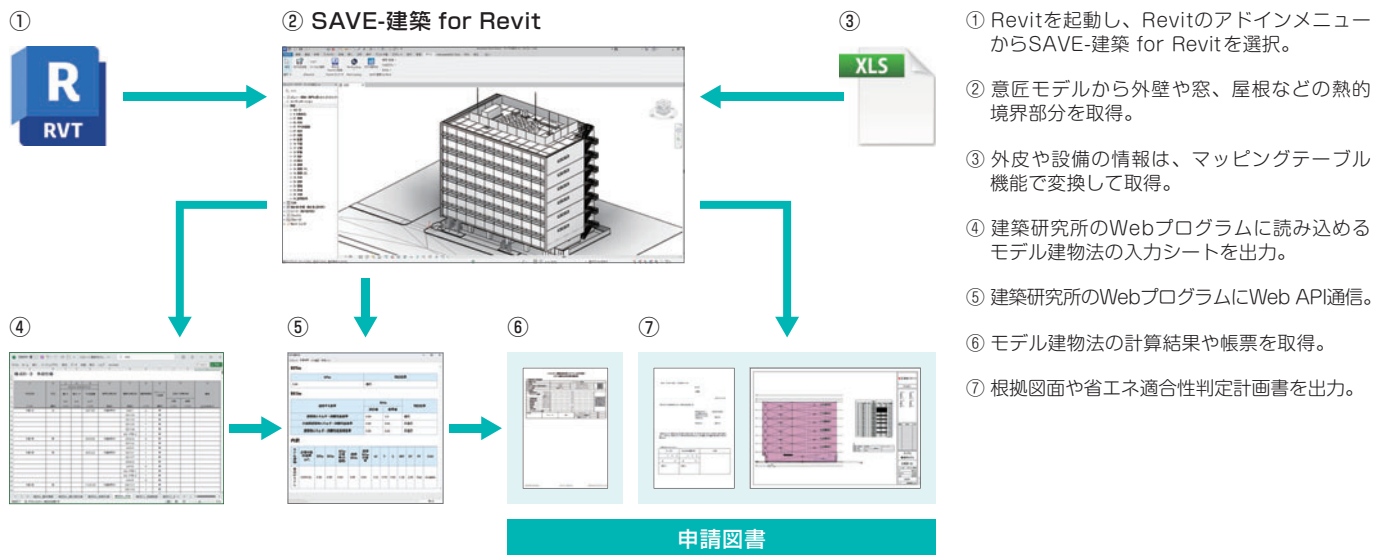
省エネ適合性判定計画書の作成支援

付属のテンプレートを使用することで省エネ適合性判定計画書を簡単に作成でき、このまま申請図書として所管行政庁や審査機関へ提出できます。



省エネ適合性判定計画書

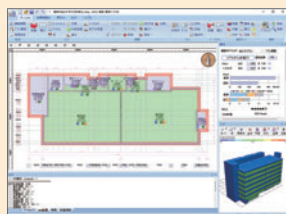
SAVE-建築 for Revitの操作イメージ



申請図書

建築物(非住宅)の省エネルギー計算

SAVE-建築



図面を下敷きにしてモデリングでき、入力モデルから、面積や層を構成する材料が自動で集計できます。リアルタイム計算機能により、省エネルギー性能を確認しながらデザインが検討できます。建築物省エネルギー法に準じた省エネルギー計画書の作成を支援し、所管行政庁への提出資料として利用可能です。

※ SAVE-建築 for Revitは、SAVE-建築に含まれています。単体での販売はしていません。

動作環境

対応するRevit: Autodesk Revit® 2025/2024/2023^{*1}
 ライセンス認証: ネット認証^{*2}
 インターネット接続: 認証時^{*2}、計算・出力時にインターネット接続が必要

必要なソフトウェア: Microsoft Excel^{*3}

※1 Revitに必要な動作環境は、オートデスク社のホームページをご確認ください。

※2 ネット認証は仮想環境では利用できません。

※3 Excelファイル出力に、Microsoft Excelのデスクトップ版が必要です。

価格

SAVE-建築 Ver.6 (SAVE-建築 for Revitを含む) 396,000円(税込)
 年会費 66,000円(税込)

※ SAVE-建築 for Revitを動かすには、オートデスク社のAutodesk Revit®が必要です。

※ 購入時は製品価格と年会費が必要です。年会費は製品ごとに必要です。

※ 教育版は下記営業までお問い合わせください。

